

今号の主な記事

- ◇「西宮さくら祭」開催……………4面
◇「西宮市まちづくり賞」を贈呈……………2面
◇4月から各支所の銀行派出所が廃止に…2面
◇乳幼児医療費助成制度 4月から対象を小学3年生まで拡大 ……3面

平成19年度の主な取り組み

「生きがい」「安心」を感じるまちづくり



地方行政は大きな変革期に直面しており、西宮市においても「真の地方分権社会」に対応し、魅力あるまちづくりを進める必要があります。市は、変革の時期である今こそ「飛躍・飛翔のとき」であるにとらえ、将来を見すえながら「愛と希望のまちづくり」に全力を挙げて取り組みます。

元気な声が響く 場所づくり

サッカーができる多目的グラウンド等を建設します

(1億4815万円)

西宮浜総合公園に、人工芝で、安心し…のびのびとサッカーやラグビーが楽しめる多目的グラウンドを整備するほか、更衣室やシャワー室を備えたレストハウスも建設します。また市民の憩いの場として、そして災害時の避難場所にもなる公園緑地の整備も進めています。芦屋市と協議を進め平成19年度に開通をめざしている山手幹線沿いに、芝生広場のある(仮称)大谷町南公園を新設し、上之町には(仮称)上之町公園を新設します。また、甲子園公園の未整備箇所を整備します。いずれも平成20年にオープン予定です。

カッコ内の金額は当該事業について平成19年度予算として計上された金額を表記しています

←2面にも主な取り組みを紹介しています

生き生き・のびのびプレーできる多目的グラウンドを整備

高齢者も安心して暮らせるまちづくり

地域包括支援センターを増設し市内で13箇所

(2億2780万円)

新たに林田町に西宮中央地域包括支援センター(旧西宮中央高齢者介護支援センター)を開設します。地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、地域の総合相談窓口として平成18年4月より創設されました。保健・福祉・介護などの生活に関する相談に応じたり、高齢者福祉サービスの申請を代行します。また必要に応じて高齢者宅等を訪問し生活状況を把握します。日常生活に必要な課題を整理して、介護保険サービスにとどまらず適切なサービス、関係機関、制度の利用につなげて、高齢者が安心して生活を送れるよう支援していきます。

子育てしやすい環境づくり

育児支援訪問事業を実施します

(1358万円)

子育てに不安を感じている皆さんにとって、気軽に質問でき、サポートしてもらえ…環境が身近になれば心強いものです。子育てしやすい環境づくりをめざして、生後2カ月の乳児がいる家庭を訪問し、子育ての相談や情報提供を行う「健やか赤ちゃん訪問事業」をモデル実施します。地域の民生委員や主任児童委員の皆さんなどが対象家庭を訪問してまいります。また、保健師やヘルパーなどが、出産後の心身の不調・育児ストレス等を抱えた養育者の家庭を訪問し、育児の相談・指導・家事援助を行う「育児支援家庭訪問事業」も実施します。不安や悩みを解消して、心も体も元気な状態で子どもとふれあえる環境づくりに取り組みます。

認知症家族介護者へ訪問支援を始めます

(515万円)

脳年齢計を利用した認知症予防の取り組みを進めるとともに、在宅認知症の高齢者の話し相手や見守りをする訪問支援制度のモデル事業を始めます。また認知症について相談できる機関も掲載しているリーフレットを地域包括支援センターで配布します。

推計人口: 47万3061人 (女24万8512人、男22万4549人) 世帯数: 19万7580 面積: 100.18 km2 平成19年(2007年)3月1日現在